



アグリ ワーク ポイント AGRI WORKPOINT

次年度への園地づくり

果樹林産センター 青島



貯蔵管理

温度5～8°C、湿度85%が目安となります。2週間に一回程度は腐敗果の除去や貯蔵箱の差し替えを行います。近年暖冬となる年が多く、温かい空気は果実の腐敗を助長させるため注意が必要です。気温が高い場合は貯蔵庫の扉を締め切り、外気を庫内に入れないようにします。

樹勢回復

次年度へ向けて樹勢の回復を目的に尿素500倍等の窒素系液肥の葉面散布や暖かい日のかん水を実施しましょう。また、寒害による冬季の落葉は、樹勢を低下させると共に翌年度の着花量を減少させます。寒害の心配される園地では寒冷紗などで樹を被覆して落葉防止に努めましょう。

土づくり

根の細根量を増やし、施肥の吸収効率の向上を目的に土壤改良を行いましょう。

堆肥を投入することで土壤が柔らかくなり、通気性・保水性が向上し新根が発生しやすい環境となります。また、ミカン栽培に適した土壤pHは5.5～6.5です。土壤が酸性化していると、根の発根や肥料の吸収が抑えられてしまいますが、苦土セルカや苦土石灰等の土壤改良材を適用しましょう。

剪定

2月から3月にかけて剪定を行います。昨年度の収穫結果から、今年は着花量が多くなると思われる園地は、2月中に剪定を行いましょう。早期に行うことでの新梢の発生が良好になります。反対に着果量が少なく裏年傾向が予測される園では、つぼみや花の状況を確認してから剪定を行いましょう。

肥料	施肥量
苦土セルカ2号	160kg/10a
キノックス	2,000kg/10a